

## 参考資料5. 浦安市の各種意識調査等からみた課題

### ■参考とした各種意識調査

- 資料1 市政に関する市民意識調査（平成26・30年）
- 資料2 生涯学習に関する市民意識調査（平成29年）
- 資料3 浦安市小・中学校生活実態調査（平成24・26・28年度）
- 資料4 保護者及び教員の教育に関する意識調査（平成25・27・29年度）

### 課 題 認 識

- ①浦安市の住みやすさの要因のひとつに文化施設の利用のしやすさが挙げられており、本市の魅力として図書館等の文化施設のさらなる充実が求められる。
- ②本市においても、学校段階・学年が上がるにつれ、読書離れや活字離れが進む傾向がみられることから、早い時期に読書習慣を身につけるとともに、発達段階に応じた継続的な取り組みが求められる。
- ③学校教育における学校図書館の利用については、小学校に比べ中学校の利用が低いことから、中学生の読書に対する意識を高めていく必要がある。
- ④インターネット環境や携帯電話などの情報機器の普及により、子どもたちの生活環境が大きく変化する中で、どのように子どもの読書活動を推進するのか、検討する必要がある。

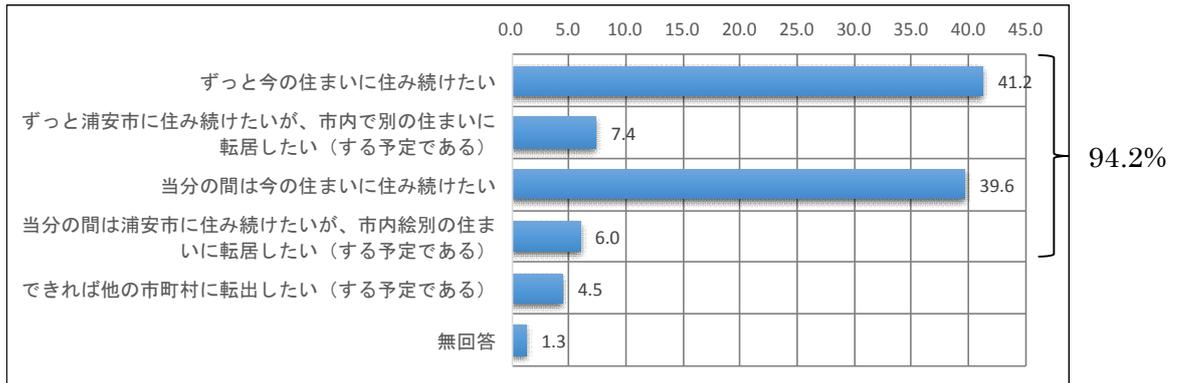
## 1) 市民の図書館等の文化施設・環境に対する評価（資料1・資料2）

## ① 浦安市の住みやすさについて

- 浦安市に住み続けたいという人は94.2%で大半を占めています。
- その主な理由としては6つみられますが、その一つに「図書館や公民館、文化施設などを利用しやすい」（49.2%）が挙げられています。

## ●定住意向

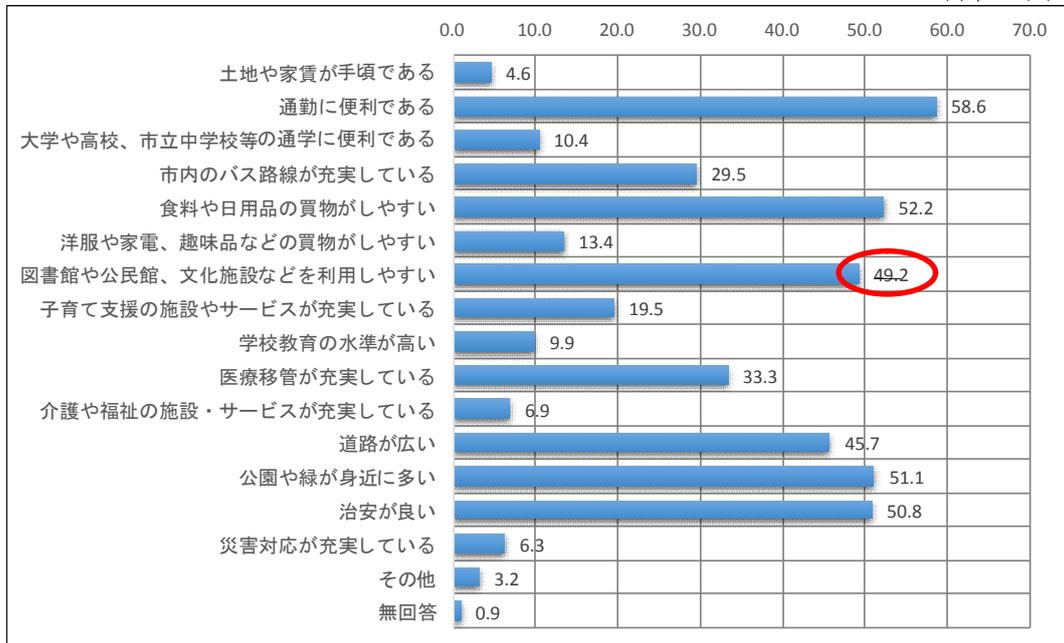
(単位：%)



(資料1：H30)

## ●住みやすい理由

(単位：%)



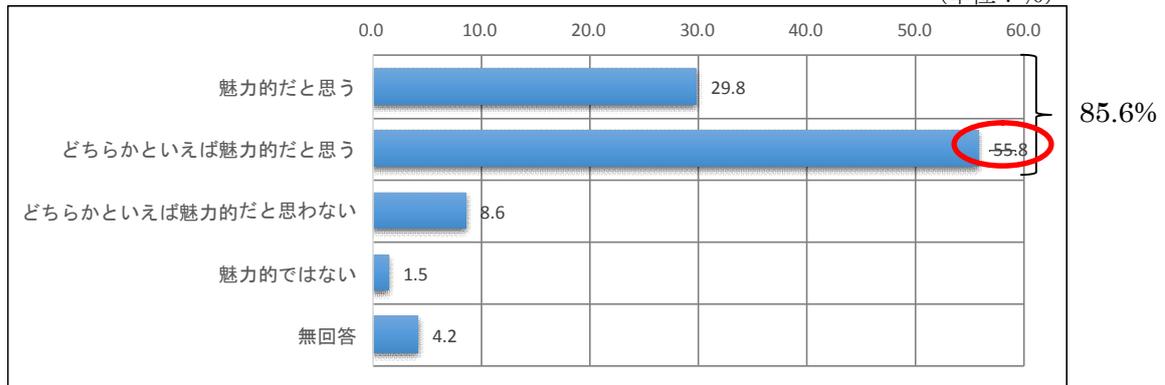
(資料1：H30)

② 子育ての場としての浦安市の魅力度と今後力を入れるべき取り組み

- 子育ての場として魅力的であるという人は 85.6%と 9 割近い回答になっています。
- また、子育て支援について今後特に注力してほしい取り組みは「放課後の子どもの居場所づくり」(24.9%) が最も多く、その一つとして図書館の役割も期待されていると思われます。

●浦安市の「子育ての場」としての魅力度

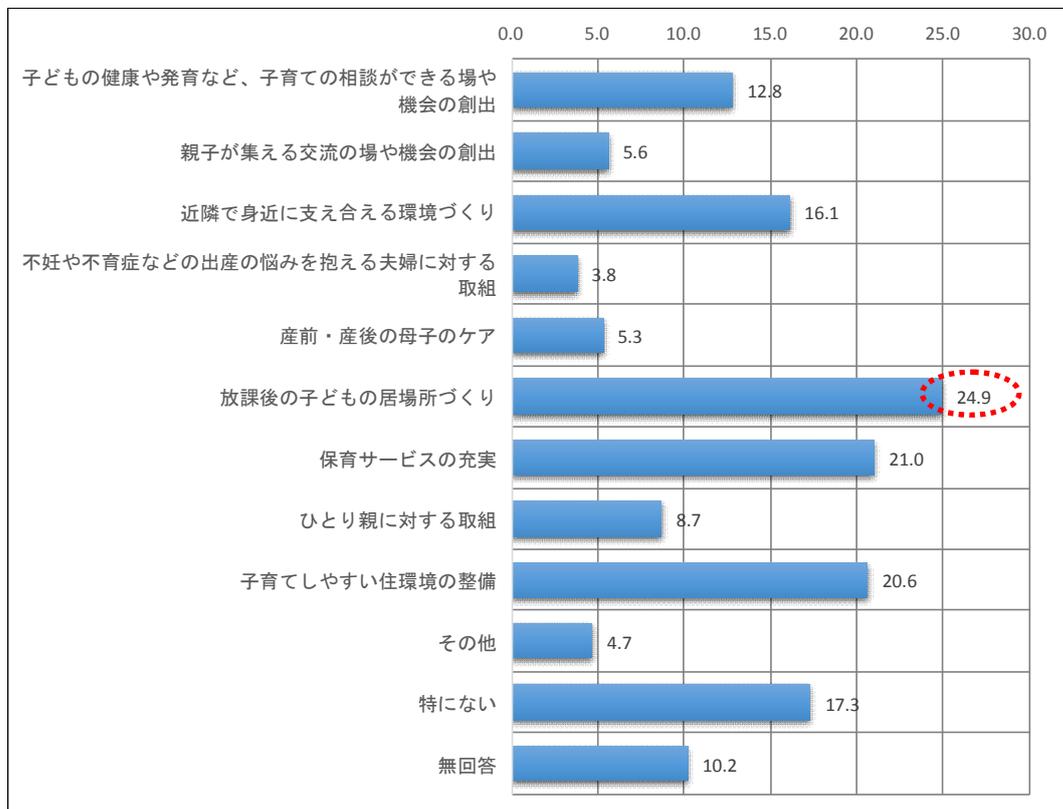
(単位：%)



(資料 1 : H30)

●子育て支援について今後特に注力してほしい取組

(単位：%)



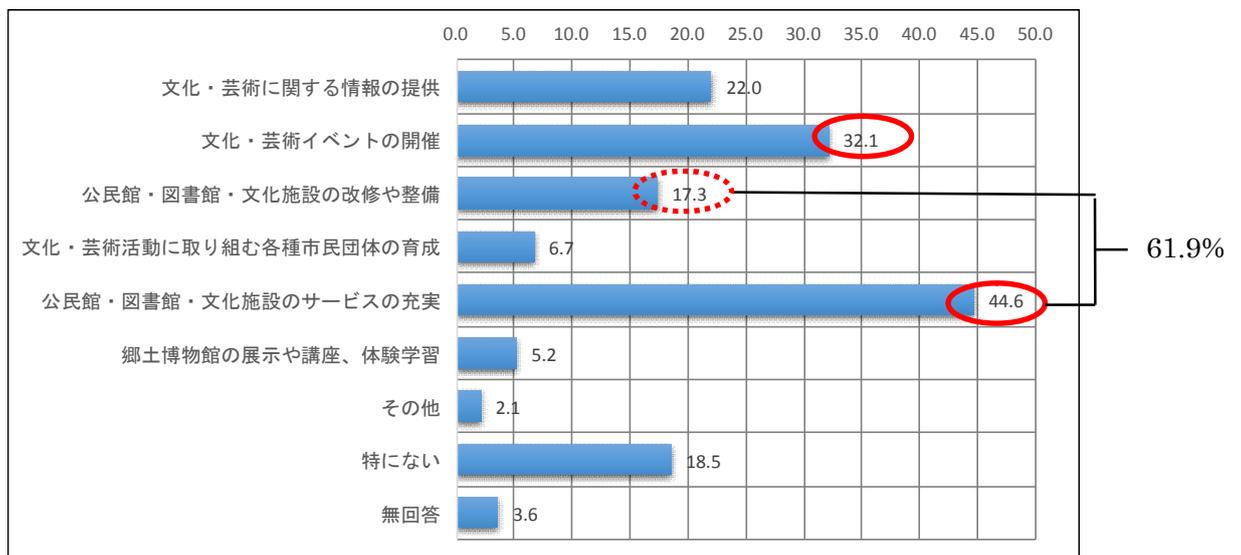
(資料 1 : H30)

### ③ 文化・芸術について、今後力を入れるべき取り組み

- 文化・芸術面においては「公民館・図書館・文化施設のサービスの充実」が44.6%と最も多く、「公民館・図書館・文化施設の改修や整備」(17.3%)を合わせると61.9%となり、図書館等の文化施設に対する要望が非常に高くなっています。
- また、「文化・芸術イベントの開催」についても、図書館を積極的に活用することも十分に考えられるものです。

#### ●文化・芸術について今後特に注力してほしい取り組み

(単位：%)



(資料1：H30)

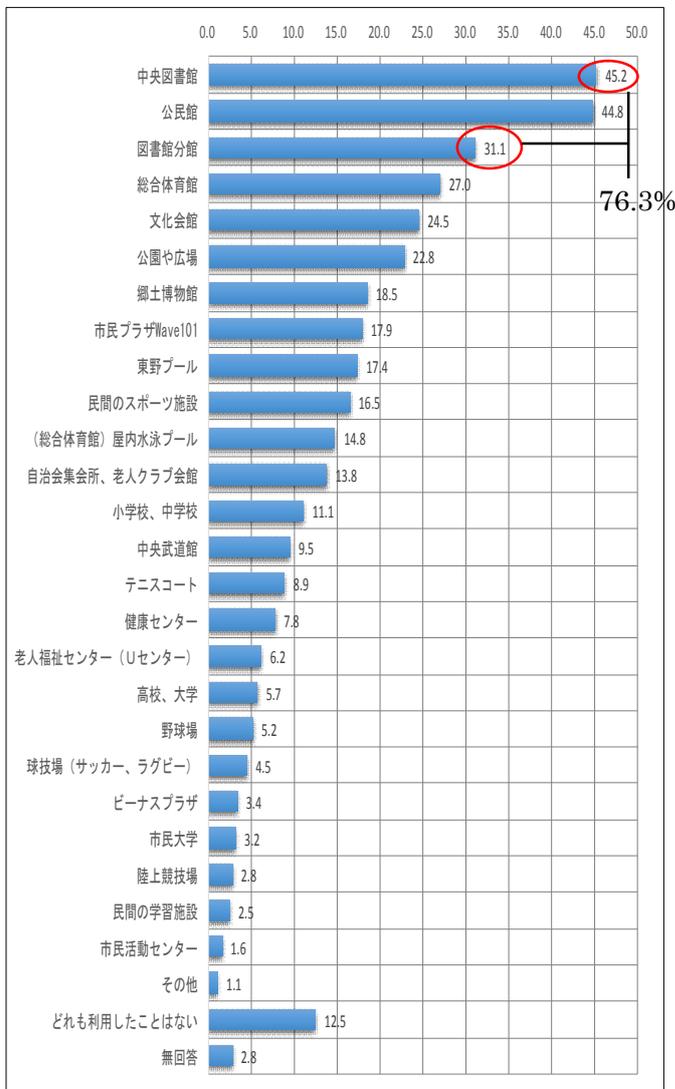
## 2) 生涯学習の中での読書活動や図書館の位置づけ (資料2)

### ① 学習活動等の頻度や活動の場所 (学習活動等：学習活動、文化芸術活動、

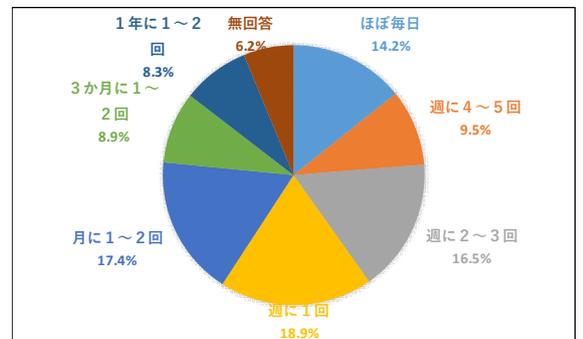
スポーツ活動を含む)

- 活動場所は、「中央図書館」が45.2%と最も高く、「図書館分館」の31.1%と合わせると76.3%となります。また、浦安市では「公民館」と「図書館分館」はセットの施設となつて7つの分館体制が整備されており、公民館・図書館は市民に身近な生涯学習の大きな拠点になっています。
- 生涯学習の活動は「ほぼ毎日」というのも14.2%あり、週1回以上の頻度でみると59.1%と半数を超えています。

●学習活動等の場所 (単位：%)



●学習活動等の頻度



(資料2 : H29)

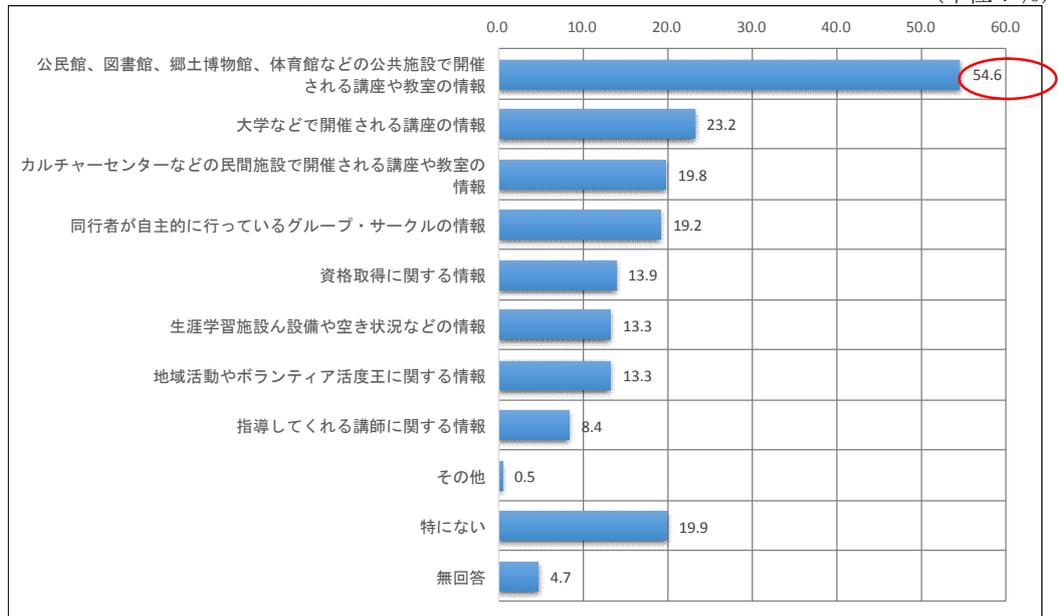
(資料2 : H29)

② 生涯学習に関してどのような情報や取り組みが必要か

- 生涯学習を行うにあたって知りたい情報をみると「公民館、図書館、郷土博物館、体育館などの公共施設で開催される講座や教室の情報」が 54.6%と特に多くなっており、“情報の発信”は生涯学習活動を促進するうえで、重要な対策となります。
- 市が取り組んでいる生涯学習施策についての評価では、「④図書館の施設の整備や運営の充実」に関して、現在の満足度も重要度も最も高い取組と評価されており、今後とも引き続き図書館活動の重要性が指摘されます。

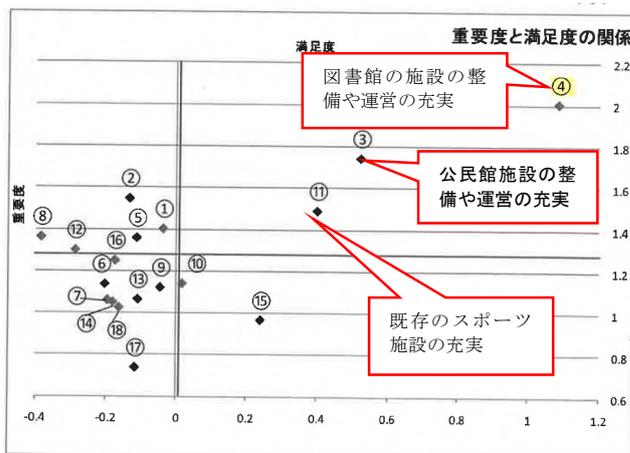
●生涯学習に関して知りたい情報

(単位：%)



(資料 2 : H29)

●市の生涯学習の取組に対する重要度×満足度



(資料 2 : H29)

●市の生涯学習の取組施策一覧 (左図の数字に対応)

①	市民のニーズに応じた学習機会の充実
②	市民が学習に取り組みやすい体制や情報提供の充実
③	公民館施設の整備や運営の充実
④	図書館の施設の整備や運営の充実
⑤	家庭の教育力の向上と親子がともに成長できる学習機会の提供
⑥	体験活動や異年齢間の交流を通して、地域での青少年健全育成の推進支援
⑦	幅広い学習活動と地域とのつながりの持てる場の提供
⑧	高齢者の知識や経験を社会に還元していく仕組みづくりの推進
⑨	市民の特性に応じたスポーツを楽しむ機会と情報の提供
⑩	スポーツ大会の実施や指導者の育成・発掘とスポーツによる仲間づくりや健康・体力の維持増進
⑪	既存のスポーツ施設の整備充実
⑫	自然の中でスポーツを楽しむ環境の整備
⑬	市民が日常的に文化芸術活動に参加できる環境づくりの推進
⑭	芸術文化に親しむことのできる機会の充実文化意識の向上
⑮	文化・文化財の保護と市民が郷土の歴史・文化を学ぶ機会の提供
⑯	生涯学習を支えるための人材の確保や育成、活用
⑰	学習活動を通して得た成果を活用できる場と機会の提供
⑱	広範な領域にわたる学習活動を支援し、地域の教育資源を活用できる環境づくりの推進

■は、重要度・満足度ともに高い施策

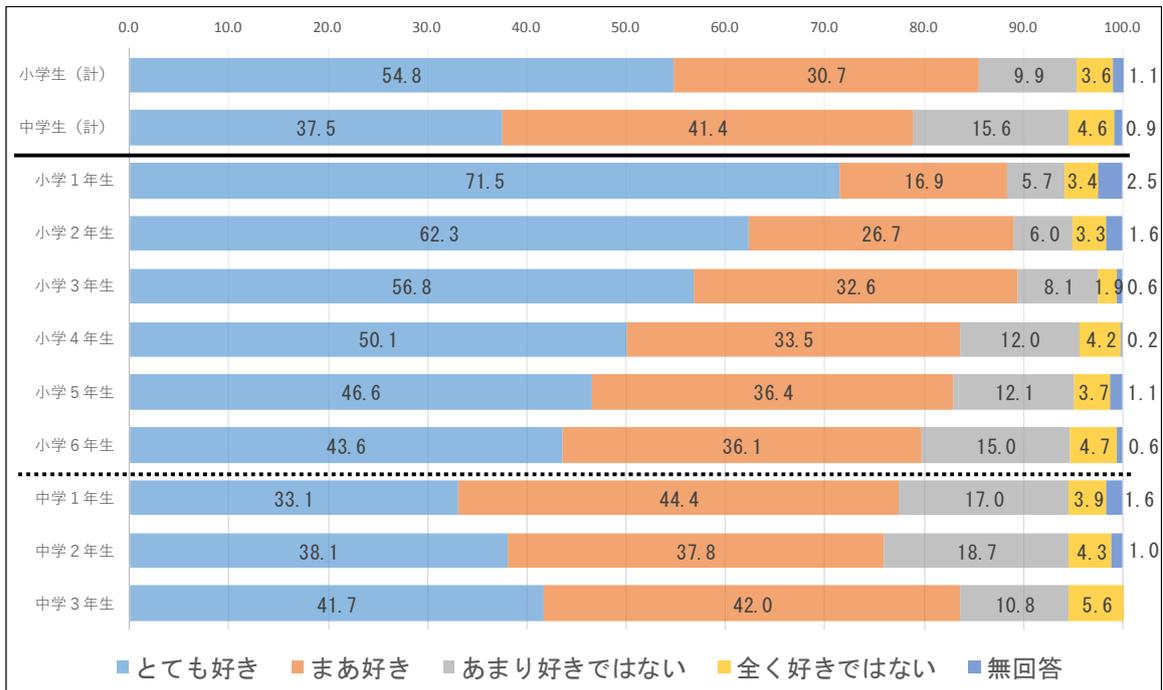
### 3) 小中学生の読書を取り巻く生活状況（資料2 & 資料3）

#### ① 読書に対する好意度

- 小学生の低学年ほど“本が好き”という傾向は高く、年齢が高くなるほど、好意度は下がる傾向にあります。但し、中学2年から3年生にかけては再び高まる傾向がみられます。
- 平成26年と28年の比較でも、“本が好き”という傾向は低学年で高まる傾向にあり、学年が上がるとその好意度は下がる傾向がみられますが、中学3年生は上がっています。

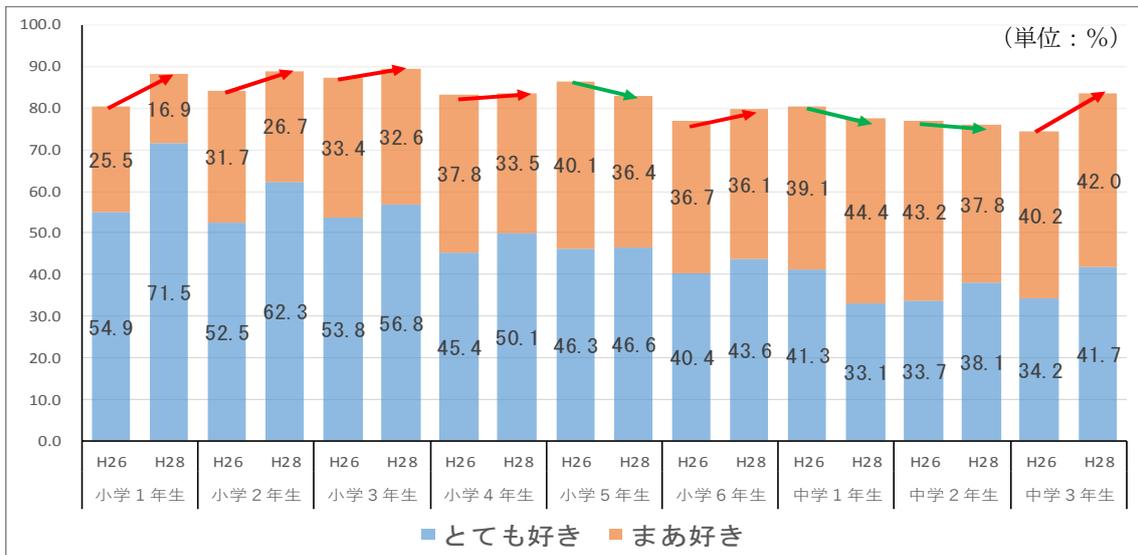
●読書に対する好意度

(単位：%)



●読書に対する好意度の推移

(資料3：H28)



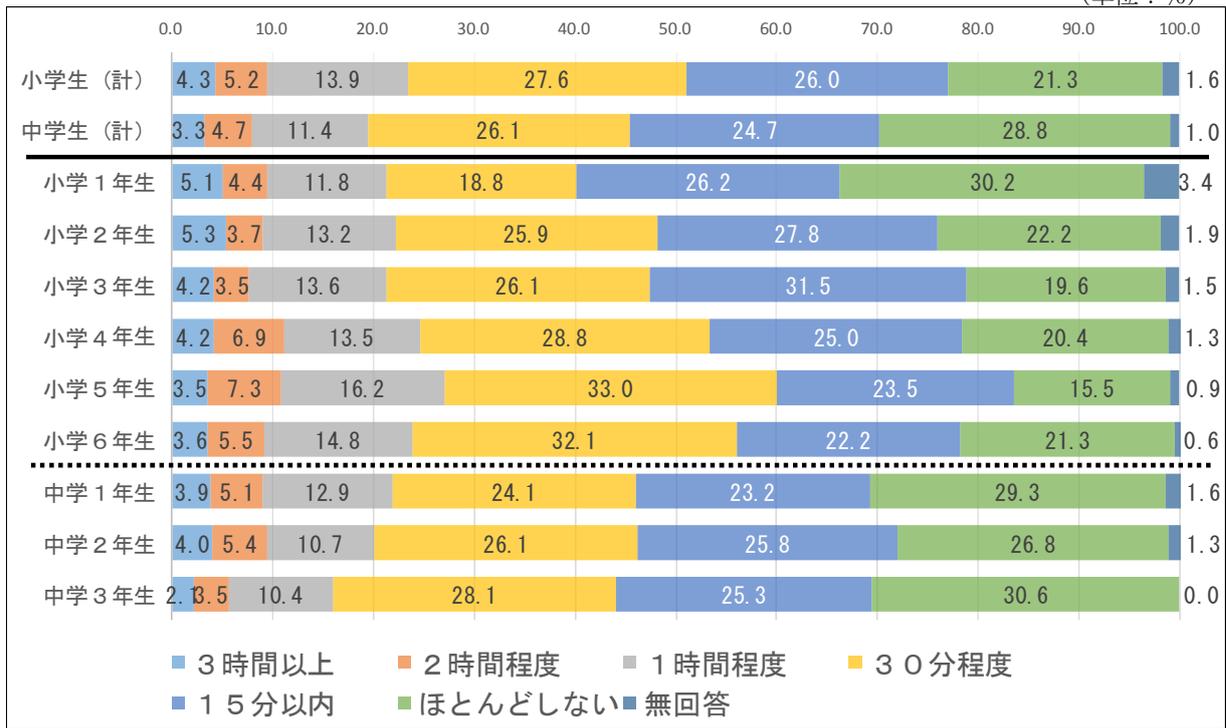
(資料3：H26・28)

② 学校の授業時間以外での読書の状況

- 各学年とも最も多いのは「30分程度」ですが、1時間以上の読書の時間をみると、小学生では学年が上がるにつれ読書時間が多くなる傾向が見られますが、中学生になると、逆に学年が上がるほど読書の時間は短くなる傾向がみられます。特に中学3年生は受験勉強等との関連もあるものと思われます。
- 読書の時間が1時間以上の推移をみると、最近4年間では大きな変化はみられません。

●読書の時間

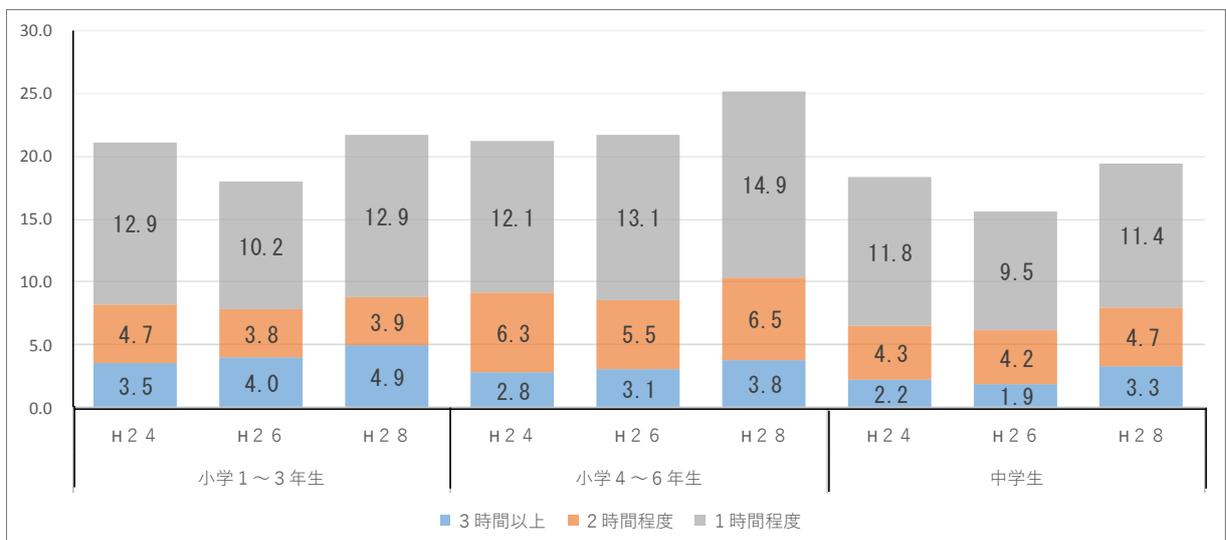
(単位：%)



(資料3：H28)

●読書の時間の推移

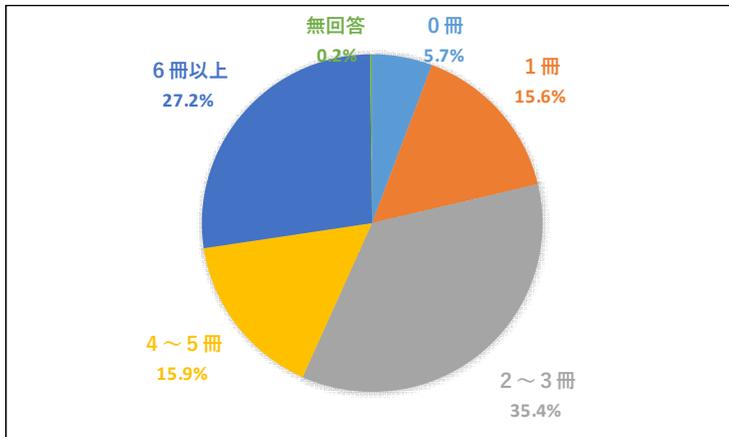
(単位：%)



(資料3：H24・26・28)

### ③ 1か月に何冊くらい本を読むか

- 最も多いのは「2～3冊」で、「6冊以上」も27%と3割近くになっています。

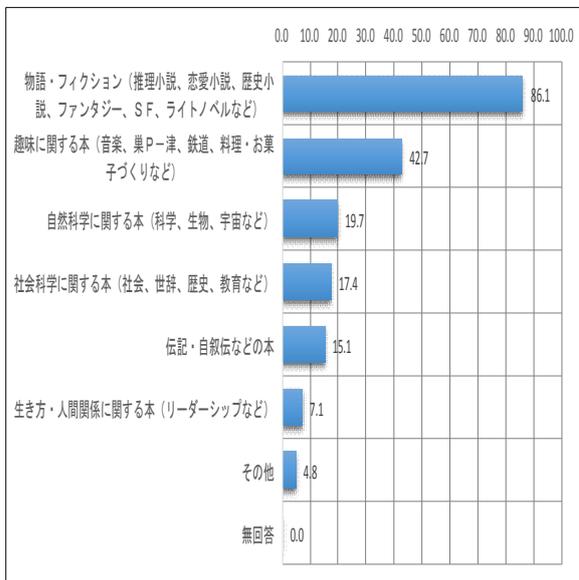


(資料2 : H29)

### ④ 読んだ本のジャンルは何か

- 最も多いのは「物語・フィクション」となっており 86.1%、次いで「趣味に関する本」が42.7%となっています。

(単位 : %)



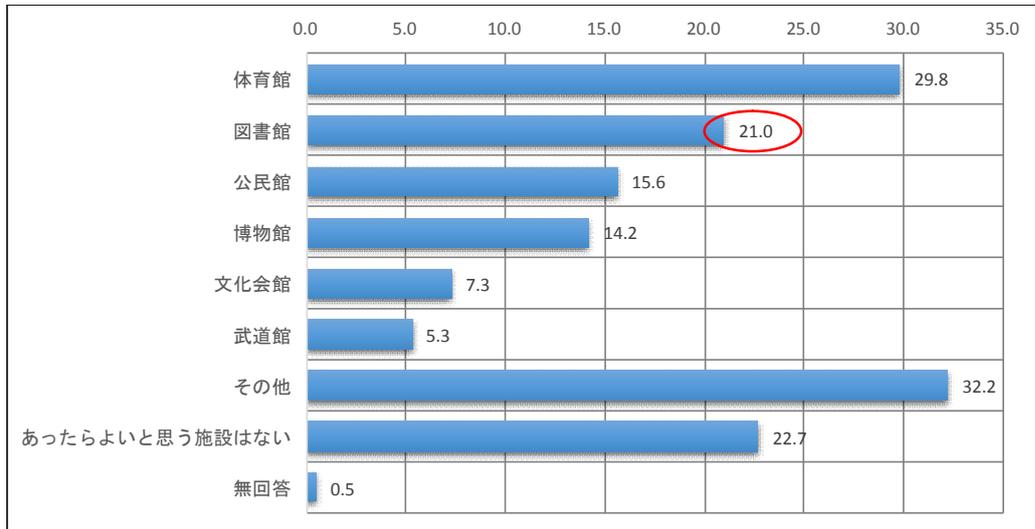
(資料2 : H29)

### ⑤ 浦安市にもっとあったらいいなと思う施設

- 最も多いのは「体育館」の29.8%ですが、次に「図書館」が21.0%となっており、小中学生の生涯学習活動の中でも、図書館に対するニーズは高くなっています。

#### ●浦安市にあったらいいなと思う施設

(単位：%)

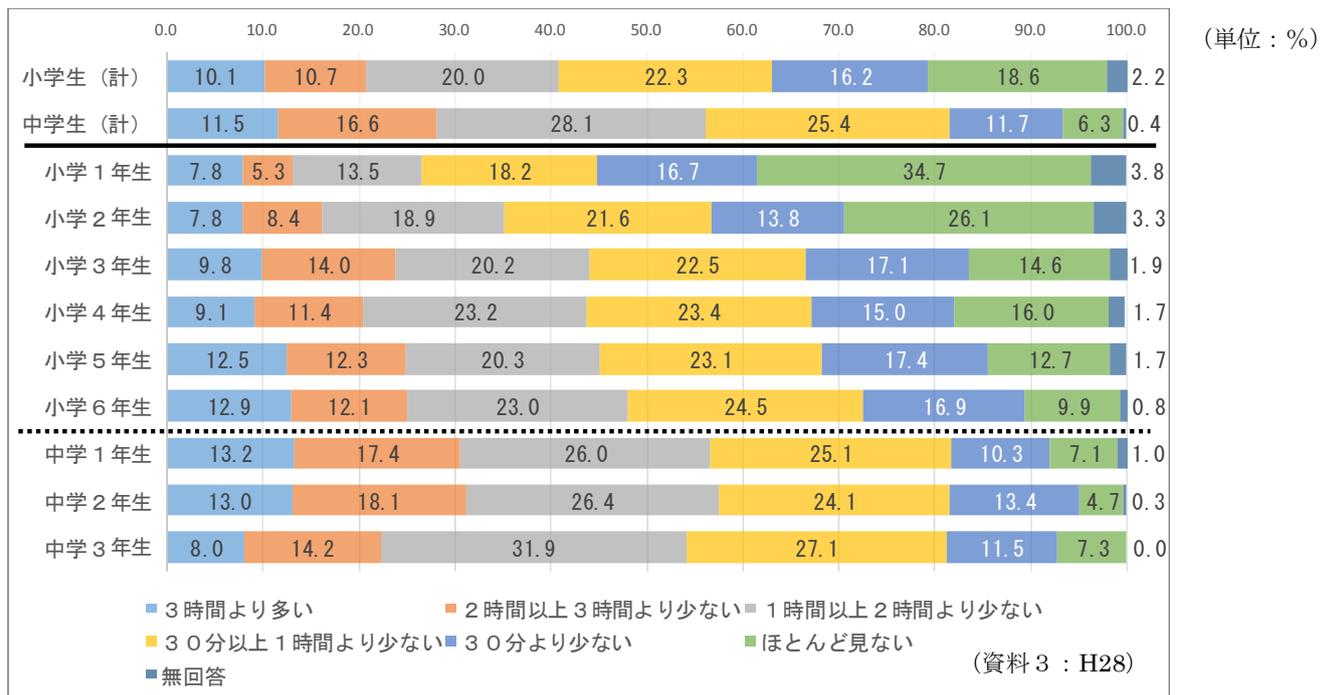


(資料2：H29)

⑥ 小中学生のテレビやビデオ・DVD・ネット動画を見る時間

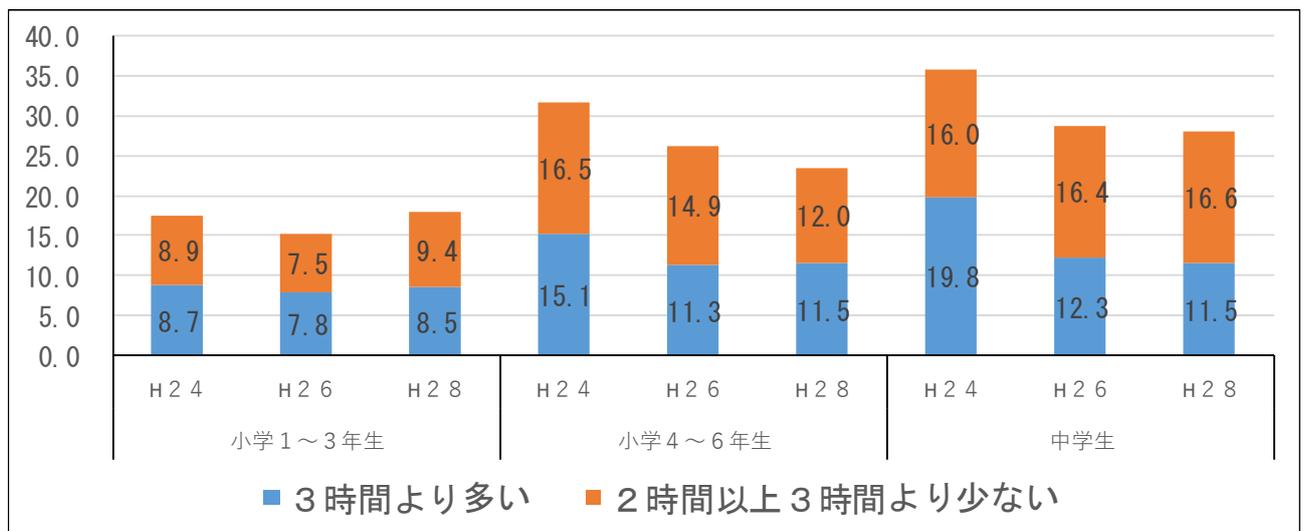
- テレビやビデオ・DVD・ネット動画を見る時間については学年が上がるほど長くなる傾向がみられ、1時間以上見ている割合は、最も少ないのが小学1年生の26.6%で、最も多いのが中学2年生で57.5%となっています。
- 2時間以上テレビやビデオ・DVD・ネット動画を見ている推移をみると、小学校の低学年層は横ばい、小学校の高学年層から中学生ではやや短くなる傾向がみられます。

●学校がある日の、1日当たりテレビやビデオ・DVD・ネット動画を見る時間



●学校がある日の、1日当たりテレビやビデオ・DVD・ネット動画を見る時間の推移

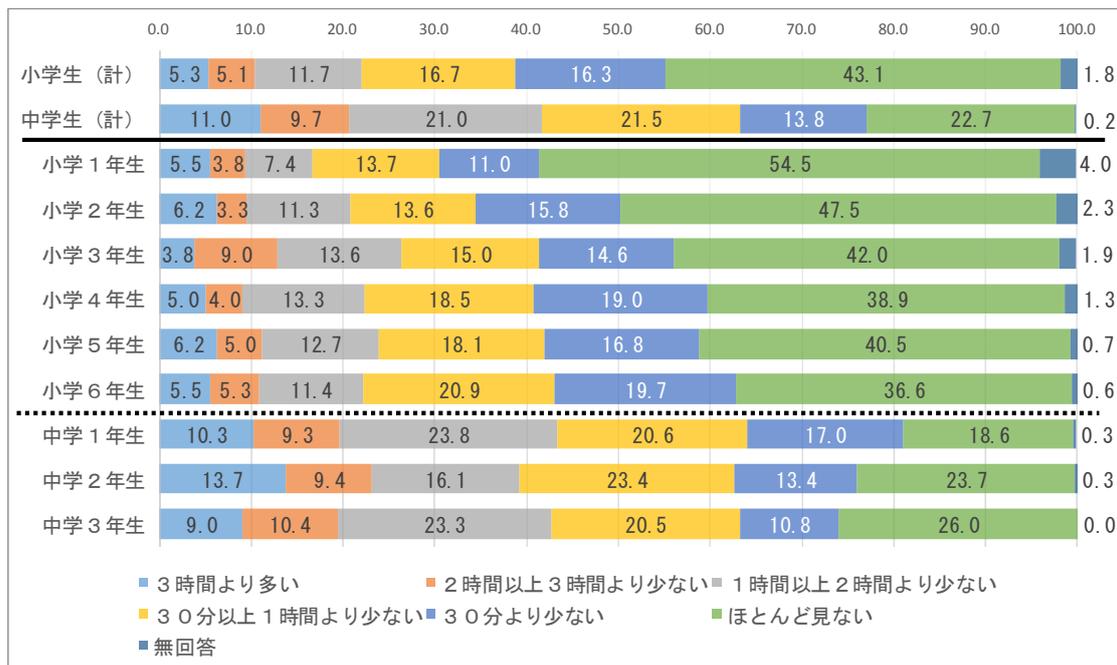
(単位 : %)



⑦ 小中学生のテレビゲームをしている状況

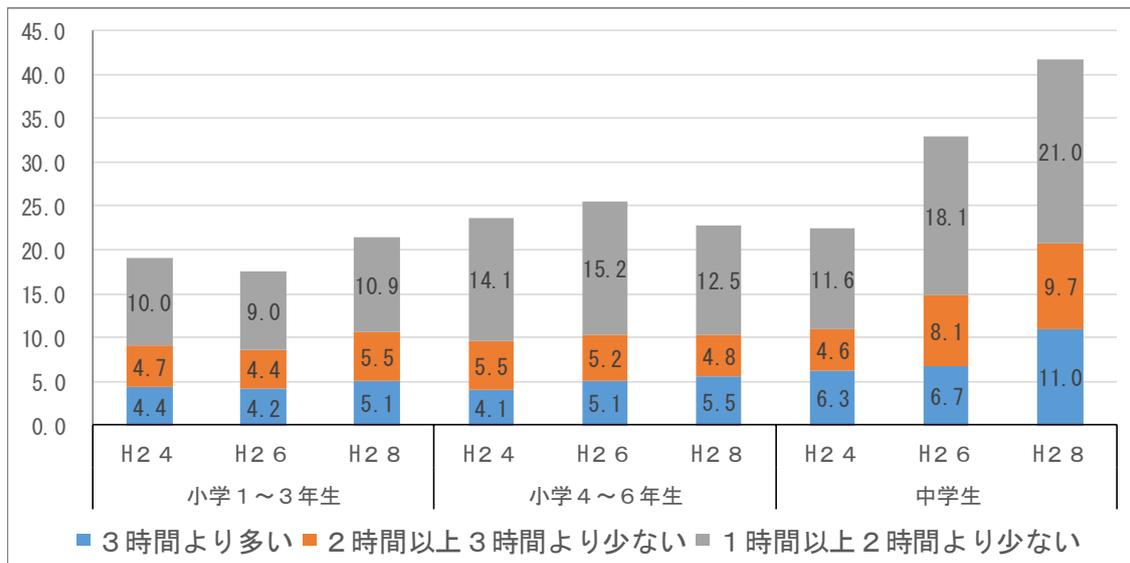
- 小学生と中学生で大きく違いがみられ、1時間以上テレビゲームをしている割合をみると、小学生は20%前後、中学生になると40%前後と20ポイント程度の開きがみられます。
- 1時間以上テレビゲームをしている時間の推移でも、小学生は大きな変化はみられませんが、中学生はここ数年急激に割合が多くなっています。

●学校がある日の、1日当たりのテレビゲームをしている時間 (単位：%)



(資料3：H28)

●学校がある日の、1日当たりのテレビゲームをしている時間の推移 (単位：%)



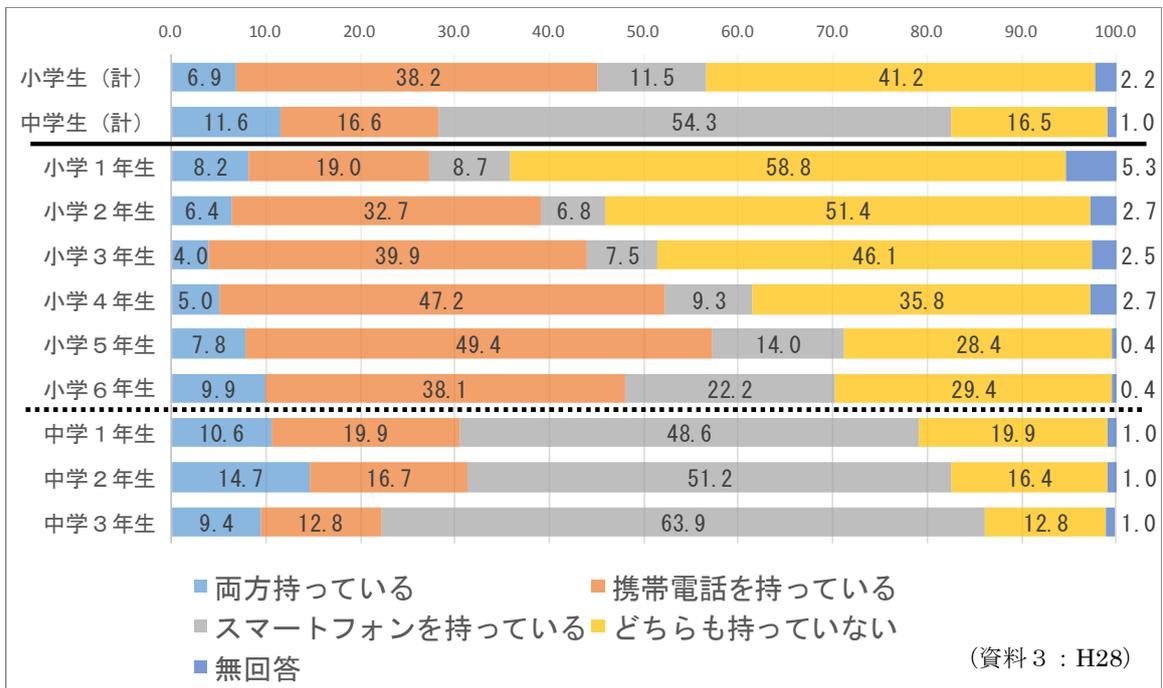
(資料3：H24・26・28)

⑧ 携帯電話の所有状況

- 小学生は「携帯電話（非スマートフォン）」、中学生は「スマートフォン」という特徴がでています。
- 小学生の低学年ではいずれも持っていないという人も5割を超えています。高学年になるといずれかを所有しているのは7割前後となり、中学生になると8割以上が所有しています。
- 所有状況の推移をみると、小学生から中学1年生まではここ数年で急激に増えています。中学2年生以上は、既に8割を超えているのでほぼ横ばいの状況となっています。

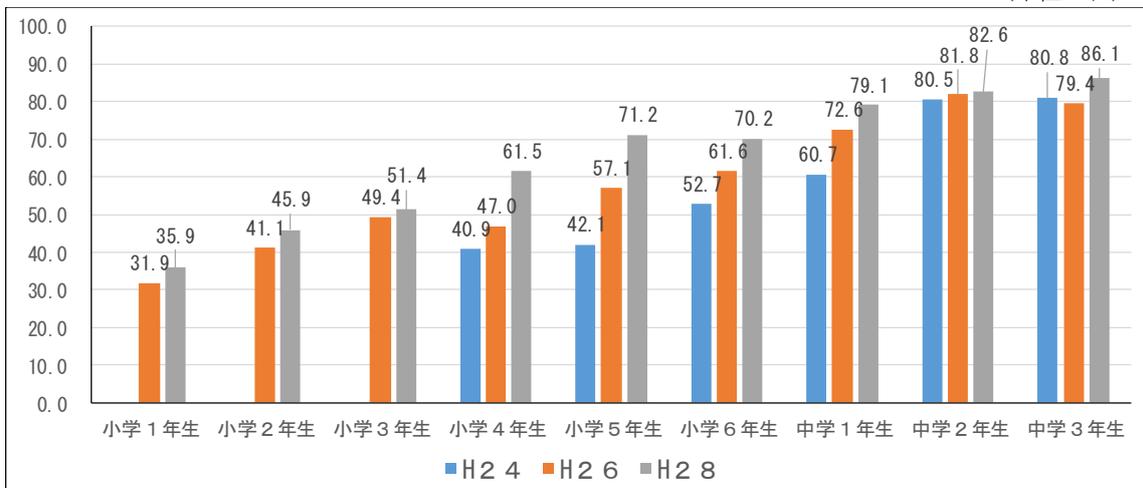
●携帯電話（スマートフォン）の所有率

(単位：%)



●携帯電話（スマートフォン）の所有率の推移

(単位：%)



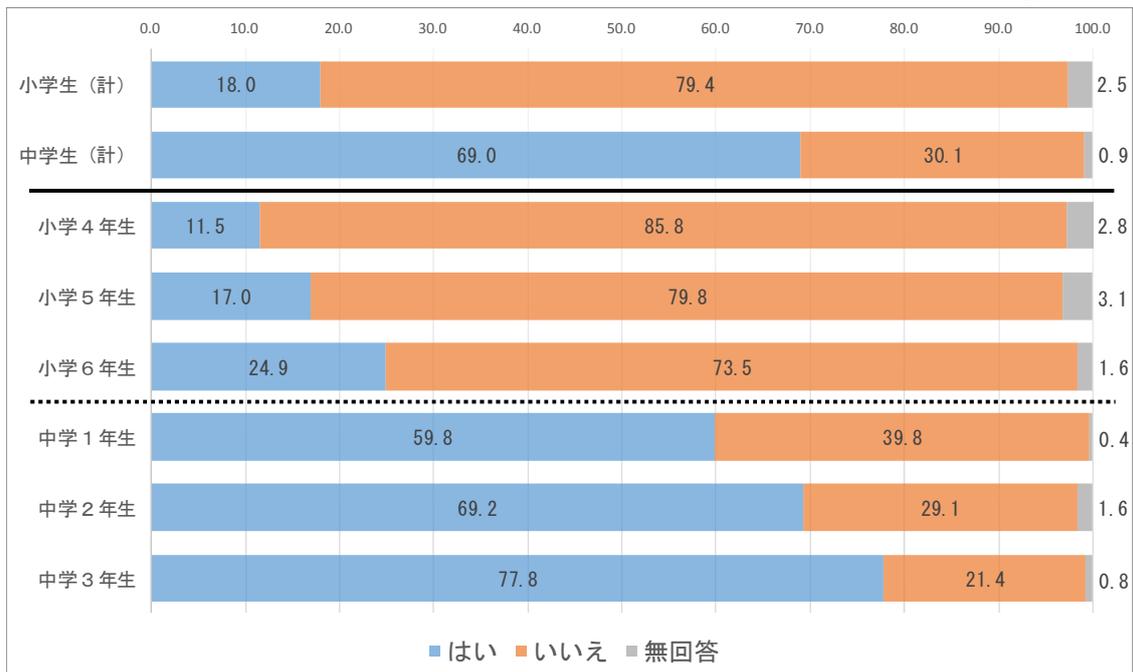
(資料3：H24・26・28)

### ⑨ SNS/プロフの使用状況

- 学年が上がるほどに使用状況は高まり、小学4年生では11.5%が、中学3年生になると77.8%がSNS/プロフを使用しています。
- 使用状況の推移をみると、小学生では大きな変化はみられませんが、中学生では4年前の平成24年では22.8%であったのが、2年後の平成26年では64.8%と3倍近く伸び、平成28年では69.0%となっています。

● SNS/プロフの使用の有無

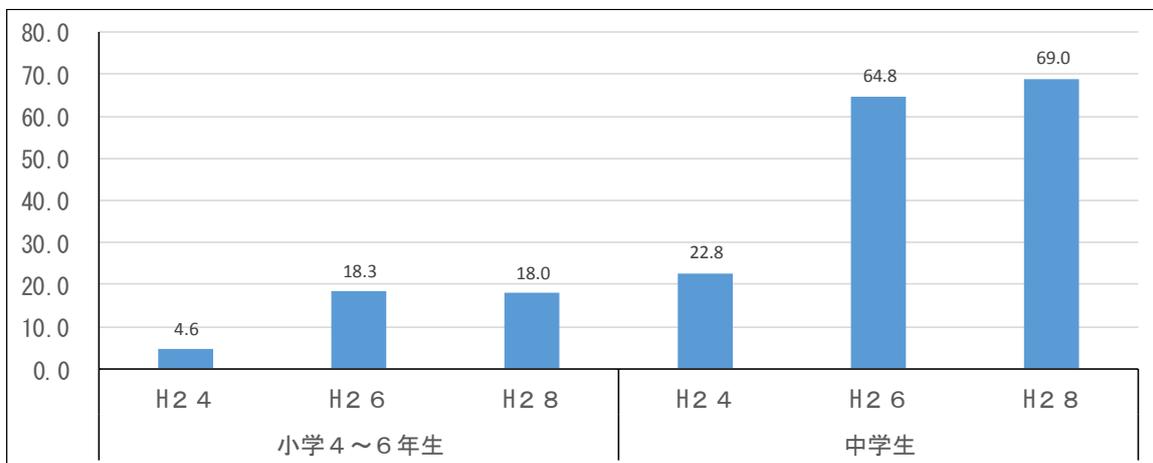
(単位：%)



(資料3：H28)

● SNS/プロフの使用状況の推移

(単位：%)



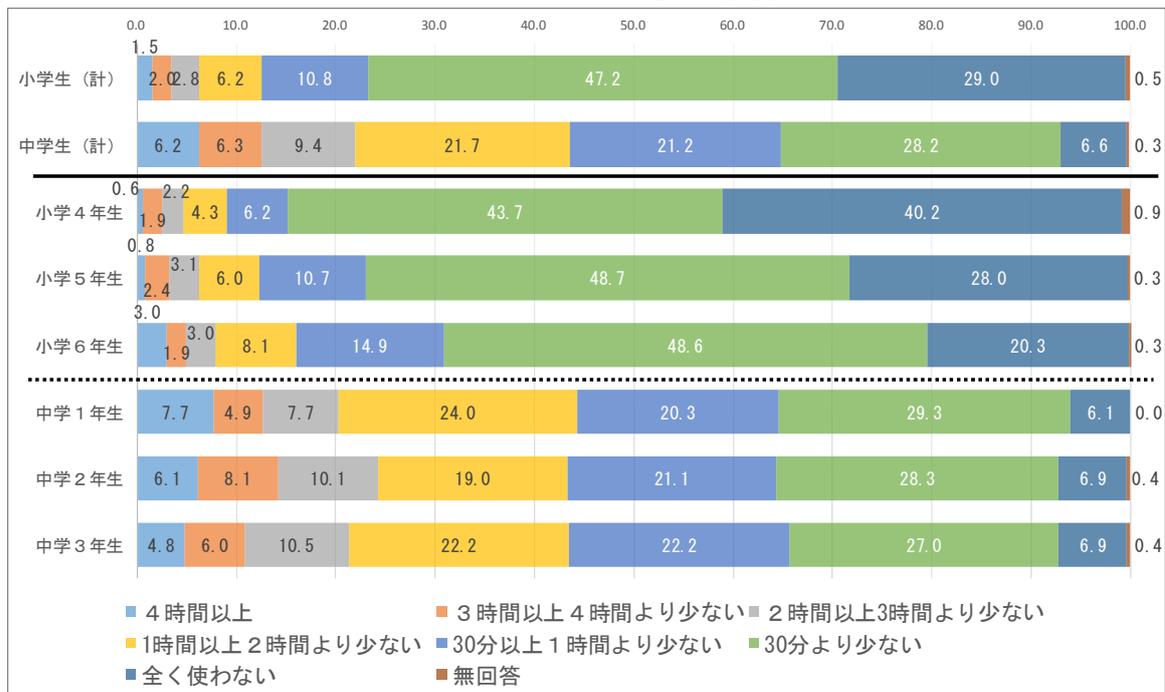
(資料3：H24・26・28)

⑩ ネット/メールの使用頻度

- 学年が高くなるほど使用頻度は長くなっています。
- 1時間以上をみてみると、小学4年生では9.0%が6年生になると16.0%、中学生になると一挙に増え、どの学年も4割を超えています。

● ネット/メールの使用頻度

(単位：%)



(資料3 : H28)



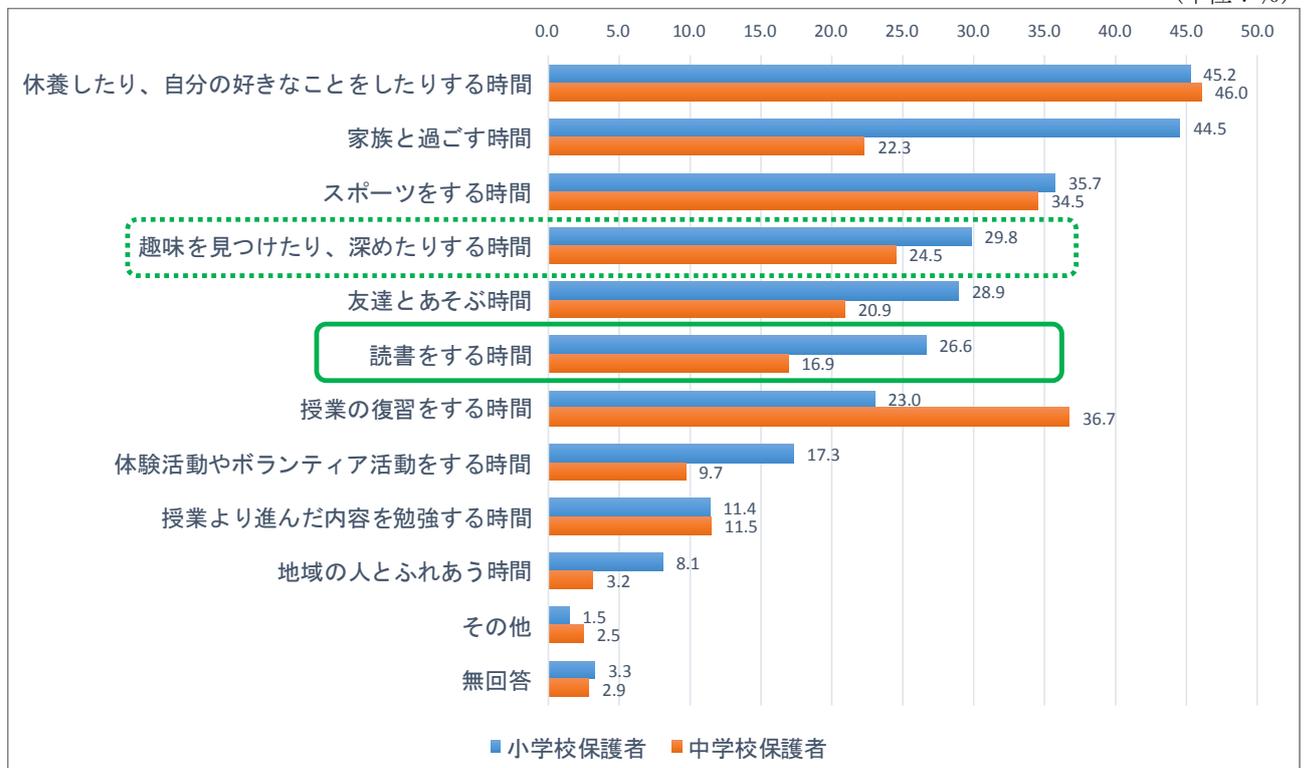
#### 4) 学校教育における学校図書館の位置づけ・活用状況（資料4）

##### ① 子供の土曜日の過ごし方

- 子どもの土曜日の午前中を充実するための時間の使い方に対する保護者の考えでは、小学校・中学校ともに「休養したり、自分の好きなことをしたりする時間」が最も多くなっています。
- 「読書をする時間」というのは、小学生保護者で 26.6%、中学生保護者で 16.9%とそれほど多くはありませんが、「趣味を見つけたり、深めたりする時間」も図書館の利用や読書を介してできることもあり、学校以外での図書館の活用も重要な位置づけになるものと思われまます。

##### ●子どもの土曜日の午前中を充実するための時間の使い方

(単位：%)



(資料4：H29)

## ② 今後力を入れるべき教育施策としての「学校図書館教育、読書活動」の位置づけ

- 今後の教育に対する取組として力を入れるべき取組について、全 30 項目の中で「学校図書館教育、読書活動の充実」は、小学生では保護者も教員も第 10 位前後と比較的上位を占めていますが、中学生になると、保護者も教員もやや重要度の認識は落ちています。

(注1：順位とは「とても必要である」+「まあ必要である」の合計の割合)

(注2：全施策の項目数は各年同じですが、選択肢は微妙に変わっています)

### ●今後力を入れるべき教育施策全 30 項目中の順位

	保護者		教員	
	小学生	中学生	小学生	中学生
平成 25 年	12 位	8 位	11 位	13 位
平成 27 年	7 位	15 位	11 位	23 位
平成 29 年	10 位	15 位	10 位	20 位

(資料 4：H25・27・29)

## ③ 授業や学習指導で心がけていること

- 学校図書館の授業での活用については、小学校での活用状況は非常に高くなっていますが、中学校では極端に低くなっています。

- また、小学校においては、学校図書館の活用は高まる傾向にあります。

### ●学校図書館の活用に対して授業や学習指導で心がけている割合

(単位：%)

	小学校						中学校		
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
平成 25 年	83.7	72.1	84.0	70.7	68.2	59.6	23.8	17.5	20.9
平成 27 年	86.5	90.2	92.2	91.5	96.3	87.0	42.5	44.7	40.5
平成 29 年	82.2	91.7	95.9	87.2	82.0	78.7	17.9	34.2	24.4

(  は 80.0%以上)

(資料 4：H25・27・29)